

# ガンコ親父の

昔々、とある農家の庭にリンゴの木が一本生えていた。農夫は実をつけなくて役に立たない木に見切りをつけ、薪にでもしようかと考えた。ちょうど諸般の事情で燃料代がかさんでいたところだったので、もっけの幸いとばかりに、斧を持ってリンゴの木の前に立った。

それを見ていたスズメやセミは大慌てして、リンゴの木を切り倒さないで欲しいと農夫に懇願した。リンゴの木は彼らの生活の場になっていて、家を失うことと同じくらい重大なことだったのだ。「お願いです。木を切らないでください。もし願いが叶えられれば、あなたのために毎日歌をうたって差し上げます」と涙ながらに訴えた。

しかし、スズメやセミの歌を聴いたところで、それが何になるのだと、農夫は耳を貸そうとしなかった。いきなり斧を振り上げてリンゴの木に刃を打ち込んだのだ。ところが、ちょうど幹にできていた洞に斧が届いて、そこには蜜がいっぱい詰まっていた。蜂の巣が現れた。農夫は驚いて自分の目を疑ったが、それはまさしく美味しそうな蜂の巣だった。農夫はさっそく伐採を中止した。

奄美黒糖焼酎

スズメやセミは、自分たちの願いを聞き入れてくれなかったばかりか、利益が見えたとたん、それまでの考え方を百八十度変えてしまう農夫をますます信用できないと思った。チュンチュン、ジー・ジーとうるさく抗議したが、それも無視された。

農夫は最近、甘いものなど食べたことのない耐貧生活を続けていたので、この天にも昇るような贈り物に我を忘れそうになった。一部始終を見ていた神様はスズメからの訴えもあり、農夫に真つ当な人間になるように教えをほどこした。教えの内容は一つは感謝の気持ちを持つこと。二つ目が信念を簡単に曲げないことだった。

しまし  
伝蔵  
でん  
ぞう

その結果、農夫は「神様ありがとうございました」と素直な心で喋れるようになり、さらに全てに感謝できる良い人間になった。そして、傷ついたリンゴの木に手厚い手当てをして、死ぬまでリンゴの木を守った。国の領地争いが起こり、戦火の中で家は焼き落ちて、農夫とリンゴの木だけは無事に生き延びたという。

常圧蒸留

農夫は神様との約束もあり、リンゴの木への愛を頑固なまでに貫き通した。そして数百年後、現代にその遺伝子を受け継いだ男がいた。松次郎だった。朝令暮改のデジタル社会の中では、特にわからずやの「ガンコ親父」と呼ばれ、避けられることも多かったが、面白いことにその純粋な精神は子供達の「推し」になっている。

昔ながらの手造り  
こだわり焼酎

喜界島の肥沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。

孫の博喜を前にして今日もその精神を披露した。「もし、明日この世が終わることも、今日リンゴの木を植える」と話した後、「どんな時だって希望を捨てちゃいけないという信念は絶対に無くしちゃダメだよ」と付け加えた。

「おじいちゃんが毎日しまちゅ伝蔵を飲んでるのも、信念なの？」と博喜が尋ねると、そばにいた妻の責代が「ただ頑固なだけよ」と鼻で笑った。

北の国では、希望を背負ったリンゴの開花時期が今年も静かに近づいている。



25度  
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12  
TEL 0997(65)0251



# 「リンゴ」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。